

教授会議事録

日時：平成22年1月12日（火）14時00分から16時05分

場所：電気通信研究所大会議室

議事録の確認

平成21年12月9日（火）開催の定例教授会議事録について、①ページ目のI. 報告事項 1. 学内外諸会議等報告（1）教育研究評議会 の10行目を「部局長連絡会議」から「教育研究評議会」に修正することとして、承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

（1）部局長連絡会議

議長から、12月17日に開催された部局長連絡会議について、下記の報告があった。

- ①国立大学協会からの事業仕分けに対する要望について。
- ②文科省予算の概要について。
- ③中長期的な大学教育のあり方についての審議事項について。
- ④中央卒教員制度に関する要項の改正について。
- ⑤平成21年度総長裁量経費（第2回）について。
- ⑥第二期中期目標・中期計画の素案の修正等について。
- ⑦入学者選抜方法の改善検討タスク・フォース報告について。
- ⑧東北大学新型インフルエンザ対応行動計画の改訂について。
- ⑨平成22年度科学研究費補助金応募状況について。
- ⑩平成22年度東北大学入学試験の実施について。
- ⑪平成22年3月学位記授与式及び平成22年度入学式について。
- ⑫入試ミスの防止について。
- ⑬教養教育特任教員の選考結果について。
- ⑭東北大学菽友会プレミアム会員の募集について。
- ⑮部局長の選考について、各部局の意見は現状維持であるが、当面現状の制度を守りつつ、候補者と面談する制度を導入すること。

（2）学生生活協議会

①サークルの急性アルコール中毒があったこと②カルト団体の大学キャンパス外での勧誘が行われているので、引き続きご注意ください旨注意喚起があった。

（3）情報シナジー機構システム利用連絡会議

12月18日に開催された情報システム利用連絡会議について、①全学情報化推進の状況として、「スターTAINS」への全学への切り替え作業を完了したこと。②ウインドウズ7に対応するウイルス対策ソフトの提供を始めたこと。③全学メールシステムを段階的に準備しており、「TAINS メール」の名称で、今後***（自分の好みのID）@m.tohoku.ac.jpとして運用するため、平成21年7月の給与明細の備考欄で通知された東北大IDについて、今後システムの運用で必要となるため、くれぐれも紛失しないよう注意喚起があった。

2. 運営会議等報告

（1）研究企画委員会

下記の報告があった。

- ①科研費について、応募領域が減って全体としては申請件数が減少しているが、通研では申請が5件増えて、91件となったこと。
- ②12月の教授会で承認いただいた、若手研究者育成を目的として「独創的研究支援プログラム」を制定したため、本日報告予定であること。

(2) 安全衛生委員会

12月22日に開催した安全衛生委員会について、下記の報告があった。

- ①12月8日に応急手当講習会を実施して、14名の参加があり、今後も定期的の実施するので、受講していない教職員・学生は参加いただきたいこと。
- ②管理下に無い放射性物質の調査を実施するため、今後放射線取扱主任者が各研究室をまわってヒアリングすることを予定しているため、ご協力いただきたいこと。
- ③防災計画・防災訓練等について検討し、消防訓練を2月8日(月)に片平南地区で実施することとしたこと。及び4月か5月頃に防災訓練を計画していること。
- ④緊急地震速報システムを導入することとしたこと。

(3) 移転対応プロジェクト委員会

本部の詳細設計が遅れており、見通しがたっていないこと。及びワーキンググループで新棟のセキュリティや費用の負担について検討していることの報告があった。

(4) 学部教務委員会

配付資料に基づき、下記の報告があった。

- ①情報知能システム総合学科の志願者状況調査について、他の学科より第1志望者の割合が少ないこと。他の学科では関東出身の学生が多いが、情報知能システム総合学科では東北出身の学生が多いこと。
- ②平成22年度授業関係日程(案)について
- ③平成22年度新生生オリエンテーション(案)について。
- ④平成22年度孝明会運動会について。
- ⑤平成22年3月学位授与式及び平成22年度入学式について。
- ⑥留学生の日本語履修の扱いについて。
- ⑦再試験評価方法等のシラバス記載について。
- ⑧研究室配属について。
- ⑨アドバイザー担当教員の選定割合を(青葉山:通研:応物=9:3:3)にすることについて。
- ⑩カリキュラムの授業担当者・時間割等について確認したこと。
- ⑪工学部3年時に実施しているTOEFL-ITPの継続について検討したこと。
- ⑫最終講義について、司会・紹介・謝辞等の担当者を確認したこと。

(5) 電気・情報系進路指導委員会

①1月14日に進路ガイダンスを実施すること②2月12日までに、各研究室で学生から指導教員に履歴書・希望調書を提出すること③2月15日から25日に各研究室で指導教員の面談を行うこと④2月26日までに、教務に履歴書・希望調書を提出する旨の説明があった。

また、近年就職状況が好ましくなく、面接での対応が無く不合格になるケースが増えているので、各研究室でも面接指導に力を入れていただきたい旨付言があった。

3. 独創的研究支援プログラムについて

配付資料に基づき、若手研究者育成を目的とした「独創的研究支援プログラム」の募集要項の内容、及び実施計画書の内容について説明があり、該当者は多数応募いただきたい旨依頼があった。

併せて、通研HPに書式を掲載予定である旨付言があった。

4. その他

(1) 学生の受賞について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(2) 受託研究の受入について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(3) 民間等との共同研究の受入について

議長から、配付資料に基づき報告があった。

(4) 奨学寄付金及び受託研究の受入れについて（第3四半期分）

経理課長から、配付資料に基づき報告があった。

(5) 現状分析の評価結果について

①先の教授会で審議した部局評価「現状分析における顕著な変化についての説明書」を本部に提出した。②「研究成果における顕著な変化についての説明書」も準備しているので、顕著な成果があった場合は評価WGか研究協力係に連絡いただきたい旨依頼があった。

II. 協議事項

1. 准教授選考委員会の設置について

准教授選考委員会の委員を増やし、選考書類・ヒアリング等手続は教授選考委員会に準じた形で審議を行うこととした旨説明があった。

引き続き、准教授選考委員会委員の提案があり、了承した。

併せて、当該研究分野・研究部の教授は准教授選考委員会の委員長に就任しない旨付言があった。

2. 研究ユニット構成について

配付資料に基づき、研究室における分野名の分割について新制度の概要について説明、及び提案があった。

①准教授がいる場合は、教授と准教授は現在の分野名と異なる分野名を自由に付けて、准教授がいない場合は、教授は現在の分野名を継続（固定）することは、整合性が取れないのではないか②助教の取り扱いについて③若手研究者の顔が見えないことへの危機感④将来へのグルーピングに注意が必要なことについて意見があり、種々検討の結果、各准教授からも賛成の意見があり、承認した。

なお、准教授のいる研究室の場合にも、教授の新分野名をグループ名（現在の分野名）と同じようにしてよいこととし、新たな分野名とするかどうかは各研究室の判断で提案いただき、その後、部門・施設・センター及び将来計画委員会、教授会で検討して、今年の6月頃までには実施することとして、承認した。

また、予算についても、教授6：准教授4に分けることを検討しているが、その運用方法については各教授のリーダーシップに委ねたいので、各研究室で協力して運営いただきたい旨付言があった。

3. 寄附研究部門の設置について

配付資料に基づき、設置検討委員会で検討した寄附研究部門の設置の概要について、環境調和型ICTの分野を強化することが目的であり、当面は自由に議論していくことを予定しており、共同研究の方法の一種であり、産学連携を積極的に進めていきたいことから、設置の意義が十分認められる旨の説明及び提案があり、種々検討の結果、承認した。

4. 大学間協定について

配付資料に基づき、カルフォルニア大学サンタバーバラ校との大学間協定の継続について提案があり、検討の結果、承認した。

Ⅲ. その他

1. その他

(1) 各部門長・各委員の交代について

配付資料に基づき、任期満了となる部門長、各種委員会委員、センター・施設長等の選出について、立候補、推薦等を庶務係に連絡いただきたい旨依頼があった。

なお、ローテーション等で定まらない役職については、特に立候補、推薦等が無い場合は、案を作成して2月の教授会で審議する旨付言があった。

(2) 教育研究評議員の選出について

議長から、2月の通研教授会で教育研究評議員を選出したいため、従来 of 慣例どおり選挙で実施したい旨説明があった。

(3) 一者応札・応募についての改善方策等について

経理課長から、配付資料に基づき、一者応札・応募が多いことへの対策として、年度内を準備期間として、来年度から十分な入札期間が設定できるよう制度を変更するため、実験設備等を導入する場合は、仕様策定等の作業等をすみやかに行えるようご協力いただきたい旨依頼があった。

(4) ロードマップの改訂について

4月から部門長やセンター・施設長等が交替する可能性があるため、年度内を目標にロードマップの改訂作業を行っていただきたい旨注意喚起があった。

(5) 次回の開催について

平成21年2月9日(火) 14:00から開催することとした。